

\*\*\* 日本プレイセラピー協会主催 \*\*\*

## プレイセラピー基礎講座シリーズ 治療的な遊びとは

日本プレイセラピー協会は、臨床心理士や臨床心理学専門家が集まり2002年よりプレイセラピーに関する研究活動を開始。その後、プレイセラピーや子育てに関する研修会活動も行うことになりました。本年（2007年）夏、スコットランドからアン カタナック先生、アイルランドからジュディス J. マコーミック先生を招き、アメリカで学ばれ日本で活躍の大野木嗣子先生と共に、第一回海外講師招聘プログラムを開催いたしました。

このプレイセラピー基礎講座は、大野木嗣子先生を講師に迎え、子どもの問題に応じて遊びを処方するプリスク립ティブプレイセラピー（prescriptive play therapy）の考え方や技法の組み立て方について、基礎的な講義と少人数でのロールプレイなどの演習によって体験的に学ぶ機会といたします。応用的な内容が含まれるため、プレイセラピー経験年数2年以上の方、あるいは当協会におけるプレイセラピー入門講座を受講された方々を対象とさせていただきます。

どの子どもに対しても、どんな問題でも、同じ方法でのプレイセラピーが効果的なのでしょうか？

プレイセラピーの理論や技法にはどのようなものがあるのでしょうか？

治療的な遊びとはどのようなものなののでしょうか？

プレイセラピーを実践していると、さまざまな問題を抱えた子どもに出会います。一人ひとりの問題に応じたアプローチをより効果的に処方することができたとしたら…。プリスク립ティブプレイセラピーは、さまざまな研究に基づいて、子どもの問題に最も有効な治療を処方するプレイセラピーであるため、多くの理論や技法の知識や経験が必要となり、習得には時間がかかるものです。この講座では、その基礎的な考え方や技法の一部を学びます。ご参加お待ちしております。

**日程** 第1回 2007年11月3日（土・祝） 午前 10-12 時 午後 1-4 時 30 分 （計5時間半）

▽プリスク립ティブプレイセラピーの基礎となる考え方

▽ロールプレイ（さまざまな技法）

第2回 2007年12月9日（日） 午前 10-12 時 午後 1-4 時 30 分 （計5時間半）

▽遊びの持つ治療的な力

▽ロールプレイ（さまざまな技法）

第3回 2008年3月22日（土） 午前 10-12 時 午後 1-4 時 30 分 （計5時間半）

▽問題に応じたプレイセラピーの組み立て：特定の問題を通して学ぶ

**会場** 【第1回】 子どもの城 904 会議室 【第2・3回】 南青山カンファレンスルーム

いずれも JR 山手線、東急線、京王井の頭線「渋谷駅」宮益坂方面の出口より徒歩約 20 分、

または地下鉄「表参道駅」B1 出口より徒歩約 10 分

**対象** プレイセラピー経験 2 年以上の方・当協会主催プレイセラピー入門あるいは集中講座参加者

**参加費** 28,000円(全3回) 1回目だけの参加 10000円/1回目と2回目の参加 20000円

\*シリーズプログラムの内容構成上、2・3回目だけの単独受講、  
2回目を受けずに3回目の受講はできません。ご了承ください。

**定員** 各回20名 (全3回ご参加の方を優先させていただきます。)

\*この講座は、**入門的な基礎知識がある方のための応用的な理論を紹介する講座**です。ご参加の皆さんの経験や知識にばらつきがあることを少しでも解消し、皆さんの学びがより深まるために、①と②合わせて2冊の本を1回目までにお読みいただくことを課題といたします。

課題図書①: Garry L. Landreth 著「Play therapy : the art of the relationship」Brunner-Routledge

(日本語訳 ゲリー L. ランドレス著「プレイセラピー:関係性の営み」日本評論社)

課題図書②: 以下のうちのいずれか少なくとも1冊

- ・Charles Schaefer 編「Foundations of Play therapy」Wiley 2003
- ・Karla Carmichael 著「Play Therapy: an introduction」Pearson Education 2006
- ・Terry Kottman 著「Play Therapy: Basics and beyond」American Counseling Association 2001
- ・H.G. Kaduson & C.Schaefer 編「Short-term play therapy for children」Guilford press  
(日本語訳 H. G. カドゥソン & C. シェイファー編「短期遊戯療法の実際」創元社)

### 講師紹介 ◆◆◆ 大野木嗣子先生

アメリカのカリフォルニア・スクール・オブ・プロフェッショナル・サイコロジーにて臨床心理学の修士号・博士号を取得しました。現在、東京港区で個人開業(ドクター大野木サイコセラピー・カウンセリングクリニック [http://www.dr-ohnogi.com/index\\_j.html](http://www.dr-ohnogi.com/index_j.html))。国際基督教大学にてプレイセラピーの客員講師でもあります。とくに、子どもとその家族、プレイセラピー、親業や多文化的問題を専門としています。平成16年のスリランカの津波の災害時には、OperationUSAとAssociation for Play Therapy USAの派遣により災害児に心理的支援を実施しました。American Psychological Association(APA)正会、Association for Play Therapy(APT)会員、International Mental Health Professionals Japan(IMHPJ)理事会員。Charles Schaefer先生と共に、世界のプレイセラピーについて比較紹介した“International Handbook of Play Therapy”(2005)を編集出版。

### 【お申し込み】

お申し込み用紙にご記入の上、事務局まで、なるべくメール([play\\_therapy@nifty.com](mailto:play_therapy@nifty.com))にてお申し込みください。メールをお持ちでない方は、FAX042-759-6199 青山学院大学学生相談センター内日本プレイセラピー協会事務局へお申し込みください。お申し込み後、こちらから会場案内図と、参加費振り込み口座をお知らせさせていただきますので、追ってご入金をお願いいたします。ご入金をもって、お申込完了(正式受付)となります。

締め切り : 2007年10月20日(土) 先着にて受付

お問い合わせ : [play\\_therapy@nifty.com](mailto:play_therapy@nifty.com) または F A X 0 4 2 - 7 5 9 - 6 1 9 9 事務局まで

主催 : 日本プレイセラピー協会

代表 : 湯野貴子(クリニック川畑・ファミリーメンタルクリニックまつたに) 副代表(事務局長) : 葛生聡(青山学院大学)